医療法人いつき会　守山いつき病院

TOTO

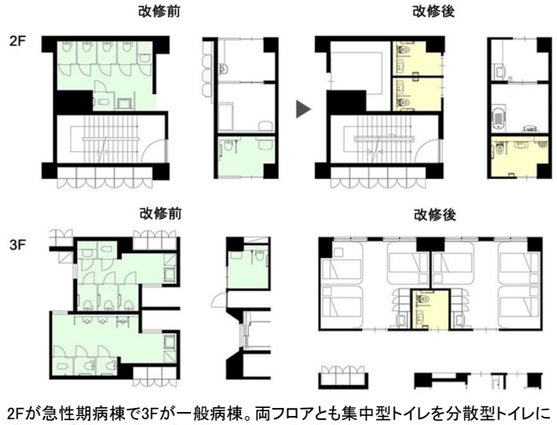
外観

名古屋の北東部に位置する守山いつき病院は、周囲に住宅街がある場所に位置する。医療法人いつき会への移譲に伴い、新しく地域医療を担う病院として、老朽化していた建物の改修を実施。

1F エントランスホール

「和風モダン」をテーマに、インテリアデザイナーがデザインしたエントランスホール。落ち着きのある高級感あふれる空間となっている。奥の自動ドアが外来棟との連絡通路。

2F・ 3F 病棟　トイレ図面



2Fが急性期病棟で3Fが一般病棟。両フロアとも集中型トイレを分散型トイレに変更し、病室からの動線を短くしている。改修後の共用トイレは、すべて車いすでアプローチできるスペースを確保している。

2F・ 3F 病棟　共用トイレ

病棟フロアには一般トイレをなくし、すべて多機能トイレに変更。コーナー部にあしらわれた和モダン風の壁紙のデザインを変えることによって、個性的な趣を醸し出している。

1F 透析室　多機能トイレ

透析中は気分が悪くなる方もいるため、すべてのトイレに呼出ボタンを設置している。

1F 透析室　女性トイレ

ブース内に手洗器を備えた個室完結型の女性トイレ。手すりの取付位置は、現場で検証を行い決定している。

2F 病室（個室）

病室内にはトイレと洗面所を設置。車いす対応洗面カウンター下の配管や電気温水器がパネルで隠されているので、見た目もすっきりとし、車いすのフットレストも当たらないように配慮されている。

3F ナースステーション

ナースステーションにも、スタッフ用手洗器を2ヶ所設置している。

1F 透析室　洗面コーナー

透析室入口前の洗面コーナー。肘までしっかり洗えるように、吐水口位置が高いグースネックタイプの水栓金具を設置。冬場でも快適に手洗いができるように、電気温水器を設置している。

1F 透析室

感染対策として、医務的処置をした後すぐに手洗いができるように、作業動線上にスタッフ用手洗器を設置。スタッフ用手洗器は手を洗いやすいとスタッフから好評を博している。

建築概要

名　　称	医療法人いつき会　守山いつき病院
所 在 地	愛知県名古屋市守山区守山2-18-22
施　　主	医療法人いつき会
設　　計	中日設計株式会社
施　　工	ナカノフドー建設名古屋支社
竣工年月	2014年2月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞

守山いつき病院は、医療法人いつき会が名古屋市より守山市民病院を譲り受け、2013年4月1日に再スタートした病院。いつき会がこれまでのクリニック運営で手掛けてきたノウハウを基に、病棟の改修や新しい医療機器の導入により幅広い診療体制を構築し、新しい地域医療を担う病院として生まれ変わった。特に透析治療に強みを持つ当法人では「心と体にやさしい透析」をコンセプトに最大63床の治療ベッド完備している。工事期間中は4階病棟のみで運用し、2階・3階同時に改修工事を実施した。機能性だけではなく、エントランスや病室の演出など、空間の快適性にもこだわりを持って作られた病棟は現在満床となっている。

＜トイレの特長＞

2・3Fの共同トイレは、半数以上の患者さまが車いす使用者ということもあり、すべて車いすでアプローチできる多機能トイレを設置している。また、透析中は気分が悪くなることもあるため、すべてのトイレに呼出ボタンを設置している。洗面カウンターは、給排水金具や電気温水器をパネルで隠して、足元をすっきりさせ、車いすのフットレストが干渉しないようにしている。また、各トイレの壁面要所にモダンな和風柄をアクセントとし、空間に趣を与えている。

2015.06 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2015 All Rights Reserved　28213